



2022年8月2日

各位

会社名 三井倉庫ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 古賀 博文
(コード番号 9302 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員財務経理担当 松井 博文
(TEL. 03-6400-8006)

2023年3月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

2022年8月2日の取締役会において直近の業績動向を踏まえ、2022年5月10日に公表しておりました2023年3月期の連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2023年3月期第2四半期(累計) (2022年4月1日~2022年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
①前回発表予想	百万円 147,000	百万円 11,000	百万円 10,800	百万円 6,300	円 銭 253.66
②今回修正予想	157,000	12,500	12,500	8,000	321.86
③増減額 ②-①	10,000	1,500	1,700	1,700	—
④増減率 ③/①	6.8%	13.6%	15.7%	27.0%	—
参考：前年同期実績 (2022年3月期第2四半期(累計))	140,044	11,636	11,723	6,734	271.17

(2) 2023年3月期通期 (2022年4月1日~2023年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
①前回発表予想	百万円 290,000	百万円 21,000	百万円 20,300	百万円 11,800	円 銭 475.11
②今回修正予想	300,000	22,500	22,000	13,500	542.92
③増減額 ②-①	10,000	1,500	1,700	1,700	—
④増減率 ③/①	3.4%	7.1%	8.4%	14.4%	—
参考：前年同期実績 (2022年3月期)	301,022	25,939	25,553	14,503	583.98

(3) 修正の理由

当期末に向けて徐々に収束していく前提で見込んでおりました海上コンテナ不足等の海運市況の混乱に伴う海上輸送から航空輸送へのシフトや、航空運賃高騰による影響（以下、「特殊要因」）は、サプライチェーンの正常化の動き等を織り込み、当初想定を下回って推移すると見込んでおります。一方、輸出入の回復による貨物需要が想定を上回る中、急速に変化する顧客の輸送ニーズを的確に捉えて機動的に輸送スペースを確保することでフォワーディング業務の取扱量が増加していること、及び為替レートが当初想定よりも円安方向に推移していること等から、第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたしました。

連結営業利益における通期業績予想と今回公表予想における差異の概要（単位：億円）

	実力値	特殊要因	合計
2022年5月10日公表 通期業績予想	180	30	210
輸出入回復に伴う取扱貨物の増加等	+10	-	+10
為替影響	+3	-	+3
その他（システム費用、修繕費減）	+3	-	+3
特殊要因（船落ちによる航空輸送へのシフト、航空運賃高騰）	-	▲1	▲1
上期増減合計	+16	▲1	+15
輸出入回復に伴う取扱貨物の増加等	+3	-	+3
為替影響	+4	-	+4
特殊要因（船落ちによる航空輸送へのシフト、航空運賃高騰）	-	▲7	▲7
下期増減合計	+7	▲7	-
本修正における通期業績予想	203	22	225
参考：前年通期実績	170	89	259

2. 配当予想の修正

(1) 配当予想の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (2022年5月10日発表)	円 銭 72.00	円 銭 72.00	円 銭 144.00
今回修正予想	72.00	92.00	164.00
前期実績 (2022年3月期)	35.00	94.00	129.00

(2) 修正の理由

当社グループは、「中期経営計画2022」（2023年3月期～2027年3月期）において、連結配当性向30%を基準とする業績に連動した機動的な配当を実施する方針としております。

今回、上記1.のとおり2023年3月期の業績予想を修正したことに伴い、配当方針に沿って通期の連結配当性向が30%程度となるよう1株当たり配当金の配当予想を修正するものであります。

(注) 上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報に基づくものであり、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上